



国民の森林・国有林

林野庁  
中部森林管理局

〒380-8575長野市大字栗田715-5  
☎050-3160-6513

<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>

広報

# 中部の森林



メールマガジン登録で発行を毎月お知らせします。  
登録サイト：<https://mailmag.maff.go.jp/m/entry>



4月の見どころ聴きどころ⑥ー立山黒部アルペンルート開通

(立山黒部貫光様からの投稿)

主な項目	○ 分収造林契約調印式と感謝状贈呈式を開催 .....	P 2
	○ 各地からのたより .....	P 3
	○ 新幹部の紹介 .....	P 6
	○ 新規採用者の紹介 .....	P 7
	○ シリーズ「森林官からの便り」 .....	P 8
	○ シリーズ「ご当地自慢」 .....	P 9
	○ 5月の見どころ聴きどころ .....	P 10

平成二十九年度分収造林契約  
調印式と感謝状贈呈式を開催

「森林整備課」三月二十日、中部森林管理局長と長野県上田市に所在する自動車販売会社(株)フジカーランド上田(羽田憲史代表取締役)との間で分収造林の契約調印式を行うとともに、同社並びに三月一日付けで既に分収造林を契約している長野県南佐久郡佐久穂町に所在する林業会社(株)吉本(由井正隆代表取締役)に対し、森林管理局长感謝状の贈呈を行いました。



国有林における分収造林制度は、地方自治体等による地域の森林整備や教育機関等による森林環境教育、歴史的行事を記念するものなど、様々な役割を担ってきたところですが、民間企業による環境貢献活動、CSR活動等にも協力できるものであり、両社はこの趣旨に賛同いただき契約の



左から由井吉本社長、宮澤局長、澤山東信署長、羽田フジカーランド上田社長

締結に至ったものです。

当該契約箇所は、いずれも東信森林管理署管内で、フジカーランド上田が浅間山国有林で約四ヘクタ、吉本は、立科国有林で約一ヘクタ、郷土樹種であるカラマツの植栽を予定しています。

感謝状贈呈式では局長から両社に対する感謝の言葉とともに、集まった報道機関に対し「国有林としましては、分収造林を通じた国民参加の森林づくりが一層盛んになるよう積極的に取り組んでまいりますので、こうした取組や呼びかけを紹介していただくようご協力をお願いします」との挨拶がありました。

もく  
空って何？

こんな使い方が…広葉樹等の  
有利販売検討会開催

「名古屋事務所」二月二十八日、各署等の若手職員など二十名が参加して広葉樹等の有利販売に向けた検討会を開催しました。

はじめに、ケヤキやトチ、屋久杉など幅広い銘木を扱う市場としては日本有数の売り上げを誇る岐阜県銘木協同組合に集合し、参加者から出された質問に、同組合の顧問である旗氏から回答をいただき、また同組合の加藤業務部長から立木段階で品質を判定する手段について、成長錐を使用し実際に採取した樹種別の年輪サンプルを見ながら説明を受けました。

その後、組合の土場に移動し、ケヤキやトチ、クリなどの原木を見ながら採材の留意点や欠点などの見極めポイント、最



見事なケヤキの原木を前にして説明

近の需要や用途など幅広い観点から説明を聴き、参加者からは「採材長はどうやって判断するのか」、など多くの質問が出されました。



塗装加工について、製品を見ながら

午後は場所をヤマガタヤ産業(株)に移動し、吉田社長や田中営業部長から以前と比べ需要が減ってきたケヤキなど広葉樹の需要拡大を目指す様々な試みの説明を受けました。

敷地の一角に設けられたショールームでは、草木染めなど色々な手法で多様な塗装加工された製品を見学しました。

今後主伐箇所が増加し、造林木以外の樹木が伐採される場合が増える想定されるため、その樹木の価値や使い道を念頭に国民の財産である国有林材を少しでも有利、有効に利用していきたいよう、今後このような取組を行っていきます。

## 各地からのたより

### 国有林内における ニホンジカ等の

#### 捕獲に関する協定を締結

〔南信署〕二月十四日、南信森林管理署と下諏訪猟友会は、下諏訪町に所在する国有林内におけるニホンジカの効果的かつ効率的な捕獲を進めるための協定を締結しました。

協定は、猟友会が行うニホンジカ等の捕獲を支援するもので、森林管理署は猟友会に対して、①林道ゲートの鍵を貸出し車輛での入林を許可、②積雪時には道路の除雪を行い車輛の通行を確保、③捕獲用具のくくりワナの貸出、④自動撮影カメラのニホンジカの撮影等の生息状況の提供を行います。

猟友会は、ニホンジカ等の捕獲を行うほか国有林野内で異常（山火事、林道の崩壊、立木の被害、倒木や落石等）を発見した場合は、森林官へ報告を行います。

締結にあたり、久保署長からは、「協定地内には諏訪大社御柱祭の御用材が生育する森もあり、



捕獲を行うハンター

猟友会等と連携して国有林の保全に努めてまいります」との発言がありました。続いて中林猟友会長から、「ニホンジカは年々賢くなってきた。ワナを借受け一層の捕獲に努める」との挨拶がありました。また、立会人の青木下諏訪町長からは、「本協定の対象となる国有林は伝統文化の御柱の森や町の水源地として重要であり、地域の自然環境を維持する上でニホンジカ対策が進むことを望む」と取組に期待する発言がありました。

協定締結とともに、南信署から猟友会に対し、くくりワナ七十個の貸出しが行われました。



貸出されたくくりワナ（笠松式）

協定締結については、地元紙三紙に記事が掲載され地域住民へ広く周知されました。協定締結後は速やかに道路の除雪を行い猟友会車輛の通行を確保しました。今後も猟友会や地域の関係者と連携を密にして、ニホンジカの食害を抑止するため個体数調整を進めていきます。

### 南アルプス食害対策協議会

#### 十周年報告会の開催

〔南信署〕二月二十四日、南信森林管理署と伊那市、飯田市、富士見町、大鹿村、長野県、信州大学農学部で構成する「南アルプス食害対策協議会」の設立十周年記念報

告会が伊那市役所で行われ、約六十名が参加しました。

この協議会は、ニホンジカの食害により希少な高山植物が無くなった仙丈ヶ岳の「お花畑」を取り戻すため、関係機関が連携しニホンジカの食害対策を進める目的で平成十九年に設立されたもので、防鹿柵の設置等による高山植物保護と再生を行ってきました。

報告会では、信州大学農学部の竹田准教授から仙丈ヶ岳でのニホンジカの移動状況について、また渡辺准教授から防鹿柵の設置による植生の変化について説明がありました。



高山帯に現れたニホンジカ

続いて、宮澤局長も参加して行われたパネルディスカッションでは、協議会長の白鳥伊那市長から、各機関の連携により防鹿柵の設置等の対策が実施できたことに対して感謝の意が表せられるとともに、今後は高山帯のニホンジカ捕獲に向けドローン等の最新技術を導入する必要性があることなどの発言がありました。宮澤局長からは、重点的に取り組むべき項目

設置当時 H20



設置後 H24



防鹿柵設置前後の状況 (仙丈ヶ岳 馬ノ瀬)

として、①防鹿柵による守りと捕獲による攻めを行うこと、②捕獲への後継者育成と技術開発、③捕獲したニホンジカの有効利用と一般住民へのニホンジカ対策の周知の必要性が示されました。元長谷地区自治会長長の中山氏からは、高山帯の異変に気付く人が増えるような啓発活動に取り組む必要があると提言されました。

報告会の後は交流会が行われ、十年間の苦労話や花の仙丈ヶ岳の復活に向けた熱い思いが語られました。

**生産性向上実現プログラム  
研修会を開催**

「岐阜署」三月六日、岐阜県揖斐川町で、岐阜県揖斐農林事務所と岐阜森林管理署共催で生産性向上実現プログラム研修会を開催しました。

生産性向上実現プログラムは、素材生産能力の高い事業体を育成することを目的に、作業日報の分析等により作業システムの改善を図る取組です。

講師は、岐阜署の熊崎森林技術

指導官と、本プログラムに取り組んだジープフォレスト(株)(岐阜市)の山中専務が務め、中部局の取組成果発表会で二年連続優秀賞を受賞した取組事例を学びました。

講師が一方的に話すばかりでなく、参加型の研修会とし、参加した素材生産事業者等からは、「日報のどこに着目すればボトルネック(生産性の低い工程)を把握できるのか」、「生産性を日々管理し、情報の共有、全員が作業内容を理解することが大切」、「レンタル機械は当たり外れがある。試し運転で不具合がないか確認する



研修会の様子

**機械選択 生産性UP**

※プロセッサ導入  
手造材 5~8㎡/人 → プロセッサ 47.5㎡/人 **6倍↑**




※フォワーダ大型化 ... 既存林道 走行安定(道幅・路面)  
運搬計画 1,100㎡  
【従来】4.5㎡/台 = 245台  
【今回】5.0㎡/台 = 220台 **25台 10%改善**

発表に使用されたスライド

か、年間で借りる機械を固定するとトラブルを回避できる」、「チェック、アクションで把握した改善点を次の計画に活かすことが大切」などの発言があり、参加各社の取組事例などを交えた活発な意見交換になりました。

生産性向上実現プログラムは平成二十七年から中部局が全国に先駆けて取り組んできたものであり、今後も取組成果について積極的に民有林へ普及していきたいと考えています。

**貴重な自然の保全と**

**利用の両立を目指し協定**

「飛騨署」三月二十六日、高山市と飛騨森林管理署は「多様な活動



協定区域内の布引の滝

の森における保護、管理及び利用に関する協定」を結びました。

この協定は、高山市丹生川町内にある「乗鞍山麓五色ヶ原の森」内の国有林に設定されている「郷土の森」について、保護林制度の見直しに伴い、自然環境の保護や遊歩道等の管理・整備活動、自然散策ツアーの開催等、森林保全活動を引き続き円滑に行うため、新たに締結したものです。

高山市役所において行われた協定締結式では、國島高山市長から



國島高山市長（左側）と坂本飛騨署長

「自然の保護と利用の両立を目指していきたい。郷土のシンボルとして将来につないでいきたい」と挨拶。坂本署長は「国有林は国民の財産であり地域の財産でもある。引き続き地域の宝として活用していただきたい」と述べました。

### 公共施設の確認に関する

### 本巣市との協定を締結

「岐阜署」三月二十九日、本巣市と岐阜森林管理署とで公共施設の確認に関する協定を締結しました。

締結にあたり、冒頭、「市が管



協定区域内の林道猫峠線

理する市道、水路、標識看板等の公共施設については、市内の山間地にも多く点在し、その一部は国有林野内または隣接地にもある。今回の協定により、森林管理署職員が通常業務の中で、これらの施設に異常を発見した場合には速やかに市担当者へ報告することで施設管理に協力する」といった趣旨説明を行った後、藤原本巣市長より「本巣市は国有林がある市北部地域は九六割が山林で人口減少も著しくなっている中で今回の協定には大変感謝している。今後も民



藤原本巣市長（右側）と藤村岐阜署長

有林も含めた取組をお願いしたい」と挨拶を受けました。

続いて藤村署長より「これまで森林管理署は国有林のことだけを見ていたという面もあったが、こういった取組により地域のための国有林として、より地域との関係を深めていきたい」と挨拶し、協定書へ署名し協定が成立しました。

協定締結後には、本誌（局広報 3月号）の「見どころ聴きどころ」で掲載された地元行事の話題から森林環境税の話題まで、幅広く意見、情報交換が行われました。

新幹部の紹介 (4月1日)



次長  
(名古屋事務所長)  
いりかわ しゅういち  
入川 修一

出身地 愛媛県

昭和54年4月 高知局人事課採用

平成25年6月

林野庁林政課管理官(契約適正  
化推進担当)

平成26年4月

四国局総務企画部長

平成28年4月

林野庁管理課管理官(人事管理  
担当)

抱負 4月1日付で中部森林管理  
局次長を拝命しました入川です。  
どうぞよろしくお願ひします。

出身は愛媛県宇和島市で高知管  
林局(現四国森林管理局)に採用  
され、これまで、九州局、北海道  
局、林野庁等で勤務してきました。  
この度、伝統ある中部局で皆  
様と一緒に仕事等ができることを  
心から楽しみにしています。

さて、本年度は、国有林野事業  
における民間活力導入の検討、林

業の成長産業化と森林資源の適切  
な管理の両立を図るための新たな  
森林管理システム(森林管理経営  
法)の制定等が予定されており、  
日本の森林林業を巡る状況が大き  
く変わる節目の年になるのではな  
いかと思っています。

こうした中、職員の皆様や地方  
公共団体や業界の皆様方のご指導  
等もいただきながら、風通しの良  
い明るい職場作りに努め、各種課  
題に取り組んでいきたいと思いま  
すのでよろしくお願ひします。



総務企画部長  
はら はら  
原 おさむ

出身地 新潟県

昭和52年4月 長野局治山課採用

平成24年4月

近畿中国局島根署長

平成26年8月

四国局徳島署長

平成28年4月

東北局総務企画部長

抱負 総務企画部長を拝命しまし  
た原です。七年振り、三度目の中  
部森林管理局勤務、あらためて宜

しくお願ひいたします。

国有林に奉職し四十年余り、そ  
んな中、いつも山々・森林を視て  
感ずることは、四季折々「山が輝  
いて観えるか」あるいは、「森  
林・林が喜んで見えるか」であ  
ります。

また、森林・林業等の政策・施  
策・事業等を展開する中において  
考えることは、「地域住民・国民  
にとって、山は一つ!」であり、  
国有林・民有林という概念は、所  
有者の世界感であると考えます。  
つまり、国有林という身内、若し  
くは、山の中での判断のみで業務  
を行うのではなく、地域住民等の  
視点・目線で業務を行うことも必  
要であると考えます。

今後とも職員の皆さんと「明る  
い職場」づくりを目指していき  
たいと考えていますので、宜しくお  
願ひいたします。



森林整備部長  
かわと えいき  
川野 英騎

出身地 三重県

平成元年4月 林野庁管理課採用

平成25年4月

林野庁計画課入札契約技術企画  
官

平成26年4月

林野庁計画課海外林業協力室長  
平成28年4月

林木育種センター海外協力部長

抱負 二十五年ぶりにこの局で働  
けることに感謝するとともに、当  
時と比べて担当する地域も業務も  
広がり、また、森林や林業あるい  
は木材に対する世の中の関心が高  
まりつつあるように感じられます  
ので、少し緊張しながら着任しま  
した。

地域の皆様のお役に立てるよう  
に、自治体や事業者の皆様方をは  
じめ森林整備に関係する方々のお  
話を伺いながら、木材の安定供  
給、多様な森林への誘導、シカ被  
害対策などに局内関係部署や森林  
管理署とともに取り組み、国有林  
野の機能を最大限に発揮させてま  
いりたいと考えています。  
どうぞよろしくお願ひいたしま  
す。



# 新規採用者の紹介

どうぞよろしく  
お願いします。



- ① 出身地
- ② 趣味・特技
- ③ 社会人になったの  
抱負

平成三十年四月、十名の職員が採用となり、管内各署等に配属となりました。

新規採用者の皆さんの抱負等を紹介いたします。(五十音順)



おかもと こうだい  
**岡本 昂大**  
(飛騨署)

- ① 長野県大町市
- ② ボルダリング・アウトドア全般
- ③ 仕事を通じて人間性の面でも成長していきたいです。「若さ」を武器に様々なことに挑戦していきます。



かとう よしあき  
**加東 良彬**  
(東信署)

① 広島県広島市

- ② 旅行・読書
- ③ 失敗を恐れず、多くのことにポジティブに挑戦していきたいと思えます。宜しくお願いいたします。



きとう なおき  
**木藤 直**  
(南信署)

- ① 愛知県豊橋市
- ② 自転車・登山
- ③ 頂いた仕事に真摯に取り組み、一日も早く日本の林野に貢献できるように努力します。



さいとう としゆき  
**齋藤 俊幸**  
(南木曾支署)

- ① 京都府京都市
- ② 自転車・登山
- ③ 様々な知識や技術を積極的に吸収し、いち早く「あいつになら任せられる」と言ってもらえるように頑張ります。



はしかおか ちひろ  
**埴岡 千尋**  
(愛知事務所)

- ① 兵庫県姫路市
- ② 吹奏楽・合唱
- ③ マナーや礼儀・気配り等基本を大事に

したいです。また、多くの方と接し、様々な知識・技術を学んでいきたいです。



ふるき かな  
**古木 香名**  
(岐阜署)

- ① 東京都杉並区
- ② 写真撮影・木登り・登山
- ③ 今まで経験のない事柄を扱うことになるので、きちんと技術を習得し日本の森林に貢献できるよう頑張りたいと思います。



みやけ ゆうへい  
**三宅 悠平**  
(木曾署)

- ① 岡山県倉敷市
- ② 読書・登山
- ③ 少しでも早く地域の皆様のお役に立てるように精一杯仕事に取り組みたいと思います。



もりがみ けいし  
**森上 慶士**  
(中信署)

- ① 兵庫県姫路市
- ② スポーツ(特にバスケット)
- ③ 人とのつながりを大切に、これから出

会っていく上司や地域の方々との交流を深め、楽しみながら仕事に励んでいきたいです。



もろみざと ほかか  
**諸見里 徳高**  
(北信署)

- ① 沖縄県西原町
- ② 登山・山歩き等
- ③ 早く仕事を覚え、一人前になりたい。国有林を守ることが国民生活の基盤を守っていることを自覚し業務を行います。



やまお まさき  
**山尾 正生**  
(富山署)

- ① 徳島県鳴門市
- ② ミリタリー
- ③ 何事も真剣に取り組み、日々の仕事から様々な知識を学び、一日でも早く我が国や国民の皆様のお役に立てるよう頑張ります。





### 名古屋事務所

名古屋事務所は、元々名古屋市に名古屋営林局・支局、名古屋分局があったことを踏まえ、

①的確な地域・地元対応を確保するため、必要な関係機関等との連絡調整

②主な木材（原木）市場等の木材価格や需給動向等の収集、分析、情報共有

③上流地域住民と下流地域受益者



資料等の展示状況

との連携強化のため、森林・林業等に関する情報の発信などの業務を行っています。

このうち、今回は、名古屋事務所が行っている森林・林業に関する情報発信の取組についてご紹介いたします。

名古屋事務所には、名古屋分局があった頃の多目的ホールを併設しています。平成二十四年度までは、事務室として活用していましたが、平成二十五年度以降、職員手作りの資料の展示を行うスペースとして徐々に整備を進めてきたもので、木曾式伐木運材図会（複製）、昔の伐木運材の写真、白鳥貯木場の歴史などの貴重な資料や木材利用についてなどの常設展示を行っています。

また、他の機関と連携して、親子で木工を行ったたり、森林鉄道の資料展や子供たちが丸太切りに挑戦するなど、木に触れ合うイベントも開催しています。

依頼によっては、小中学校の総合学習や生涯学習のための講座も開くなど、名古屋市内で森林・林業や木材の利用について学べる数



親子木工体験

少ない施設となっています。

来館者数は平成二十九年度中に七千人を超え、途切れることなく



職員から森林・林業についてや白鳥貯木場の説明を受ける来訪者

個人、団体の見学者を受け入れていきます。

最近では、インターネットやテレビ放映、各種パンフレットなどにも紹介され、その影響が若い人も訪れるようになっていきます。

今後も、ものづくりの原点となった木材を先人が苦勞して名古屋まで運んだ歴史を踏まえ、木材の利用促進、再生可能なエネルギーとして注目される木材の情報発信に努めていきます。



名古屋事務所職員 左から2番目が筆者（副所長）

(9) 平成30年4月



新城市は、愛知県東部に位置し、豊かな自然に恵まれ、戦国時代の面影を残す史跡等ロマンあふれる魅力的なエリアです。また、ラリーやトレイルラン、自転車レースも開催されるなど多彩な魅力を放っており、新東名新城ICの開通により、ますます注目を集めています。

◆もっくる新城

平成二十七年三月二十一日には、新城ICと新城バイパスの結節点に「奥三河観光ハブステーション」として、地域の魅力を発信するとともに人の集う施設を目指し、道の駅「もっくる新城」がオープンしました。

◆名称の由来

「もっくる」とは、木材・来るの意味で、温もりを感じる木材を



木製受水槽

ふんだんに使い、地元住民が集い交流する活気あふれる地域の拠点を目指しています。

◆見所(グルメ・足湯など)

「もっくる新城」のグルメとしては、標高一〇〇〇以上の高原野菜など旬の野菜を活用したバイキングメニューや、愛知県民のソウルフード五平餅、地域の獣害対策に一役買ったジビエを活用したラーメンやフランクフルト等が楽しめます。

なお、敷地内では開湯一三〇〇年の歴史を持つ湯谷温泉のお湯を使用した足湯も楽しめ、ゆっくりと寛げます。また、館内中央には薪ストーブが備えられ、冬でも暖かく快適に過ごせます。

◆新城ICから一時退出で立寄り可能

「もっくる新城」では、平成



足湯を楽しむ利用者



店内の様子

二十九年六月二十四日から、高速道路ネットワークを賢く使う取組の一環として、高速道路からの一時退出を可能とする「賢い料金」の試行を行っています。

この取組は、ETC2.0搭載車を対象に、道の駅「もっくる新城」に立ち寄り、新城ICから退出一時間以内に、新城ICから再合流すれば、高速道路を降りずに

利用した場合と同じ料金に調整される実験で、広域的な利用者増加が期待されています。  
このように、道の駅「もっくる新城」は、地域の情報や魅力を発信し、さまざまな催しも開催されていますので、是非一度お立ち寄りになることをお勧めいたします。



道の駅「もっくる新城」



新東名高速道路 新城ICからすぐ



### 上旬

① 1日頃 乗鞍スカイライン早期開通  
オープン(予定)



(飛騨署 高山市)  
夫婦松駐車場まで開通、ここからの展望は絶景です。  
② 1日 木曾町フォトコンテスト開始  
(木曾署 木曾町)

山と木曾駒ヶ岳に囲まれた大自然の中、山や川はもとより歴史や文化、風物詩など木曾町の魅力をレンズ越しに撮った「自慢の一枚」の応募を募ります。(木曾おんたけ観光局)

③ 1〜20日 郡上八幡城新緑まつり

(岐阜署 郡上市)  
東殿山国有林に対座する郡上八幡城と

城下町一帯で繰り広げられる新緑を楽しむイベントです。

④ 上旬頃 奥裾花自然園のミズバショウが見頃  
(北信署 長野市)

2日には奥裾花社前にて、安全祈願神事や神楽等が行われます。

⑤ 3日〜5日 第二十八回つち森の市  
(東濃署 中津川市)



裏木曾街道公園・道の駅「花街道付知」イベント広場で木製品・素材展示販売が催されます。東濃署も丸太切りをして鉛筆立てを作製するコーナーをメインにブース出展をします。

⑥ 5日 黒部峡谷鉄道全線開通  
(富山署 黒部市)

黒部峡谷の大自然を堪能できるトロツコ電車が、宇奈月駅から樺平駅間で全線開通となります。片道一時間二十分の旅で、木々の緑や爽やかな溪流を楽しむことができ、日々の疲れれた心を癒やすにはおすすめです。

⑦ 5日 GWイベント目指せ！絶景と感動の鍋倉山山頂  
(北信署 飯山市)

なべくら高原のシンボル「鍋倉山」。根明けと芽吹き美しいブナの森を抜けて頂上からの絶景を楽しめます。

⑧ 5日 白山長滝神社ででん祭り  
(岐阜署 郡上市)

日本三霊山の白山を霊峰とし全国各地に分布する「白山神社」の中心的神社で行われる豊作、豊蚕、無病息災を祈願する祭り。独特の太鼓を敲く音から、でんでん祭りと呼ばれています

⑨ 11日 恵那山ウェストン祭  
(東濃署 中津川市)

外国人として初めて恵那山に登り、全世界で紹介したウォルター・ウェストンにちなみ、ウェストン祭として山の無事故を祈念し記念登山や式典が行われます。(中津川観光協会主催)

### 中旬

⑩ 中旬頃 軽井沢周辺でカラマツの新緑が見頃  
(東信署 北佐久郡)  
さわやかな高原の風に吹かれて、散策を楽しみませんか。

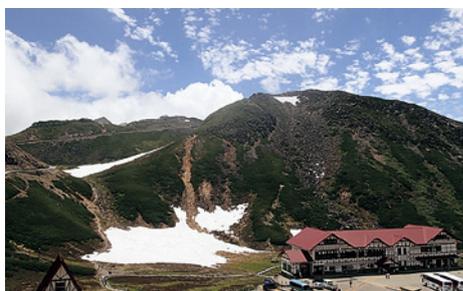


⑪ 13日 木曾開田高原健康ウォーキング開始  
(木曾署 木曾町)

木曾開田高原の大自然の中、十一月までの毎月、御岳山麓の国有林林道や古道、峠道、中山道の宿場街道と組み合わせた里山ウォーキングや木曾馬と歩くなど、様々なヘルスツーリズムプログラムのウォーキングイベントが開催されます。

⑫ 15日 乗鞍岳山開き  
(飛騨署 高山市)

日本一の標高(2702m)に達するスカイラインを通過すると雲上の世界が堪能できます。



⑬ 18日 岐阜県 ONSEN・ガストロノミウォーキング  
(飛騨署 高山市ほか)

温泉を拠点に「食」「自然」「文化・歴史」の地域資源をウォーキングにより体験するイベントです。

### 下旬

⑭ 未定 奥三界岳ふれあい登山

(東濃署 中津川市)

中津川市青少年健全育成推進市民会議川上支部による、毎年恒例のふれあい登山が行われます。往復四時間の登山コースです。

⑮19日 「古今伝授の里」春まつり

(岐阜署 郡上市)

和歌をテーマとした野外博物館・古今伝授の里では、プロの能楽師による仕舞が見学できます。新緑に包まれた会場で、日本の伝統芸能を楽しむことができます。

⑯19日 愛知県植樹祭

(愛知県 愛西市)

平成三十一年開催される「第七〇回全国植樹祭の一年前記念イベント」と位置づけ開催されます。

⑰20日 富山県森と木のフェスタ

(富山署 射水市)

昨年の全国植樹祭の気運を未来の森づくりに繋げるメモリアルイベントです。記念植樹、里山林の下草刈りなどが行われ、当署でもブースを出展して木製クラフト教室を開催します

⑱20日 SDA Try Bike 王滝

(木曽署 王滝村)

林道を走行するクロスアマウンテンバイクレース。コースは100キロメートル、42キロメートル、20キロメートル。マウンテンバイクと王滝村の大自然を存分に味わえます。

⑲20日 白山中居神社春季例祭

(岐阜署 郡上市)

樹齢二百年から千年の百五十本にもおよぶ杉の大木に囲まれた白山中居神社で、春季例祭が行われ五段の神楽が奉納されます。

⑳20日 (予定) 乗鞍山麓五色ヶ原の森開山祭

(飛騨署 高山市)

今年も乗鞍の山麓に広がる原生林をトレッキングするツアーが始まります。ここでしか体感できない大自然が堪能できます。



㉑26日 大桑村・木曽森林管理署南木曽支署合同植樹祭 木曽郡植樹祭

(南木曽支署 大桑村)

大桑村のぞきど森林公園近くの村有林において、木曽郡内や愛知県北名古屋市区等から約六百名が参加し、ミズナラやミツバツツジなど二百七十本を植樹します。

㉒26日 能郷白山開山祭

(岐阜署 本巢市)

根尾川の源流部、大河原国有林に鎮座する「能郷白山」は、古代から本巢の大

地を潤し、文化を育んできました。今年、開山千三百年となりました。



㉓27日 第55回信州木曽・上松 赤沢森林浴大会

(木曽署 上松町)

赤沢自然休養林で、ガイドさんとともに森林浴を楽しみます。コースは学術研究コースとふれあいコース、リラククスコースの三つ。脚力に合わせてお選びいただけます。



㉔27日 ヒルクライム・イン・王滝村

(木曽署 王滝村)

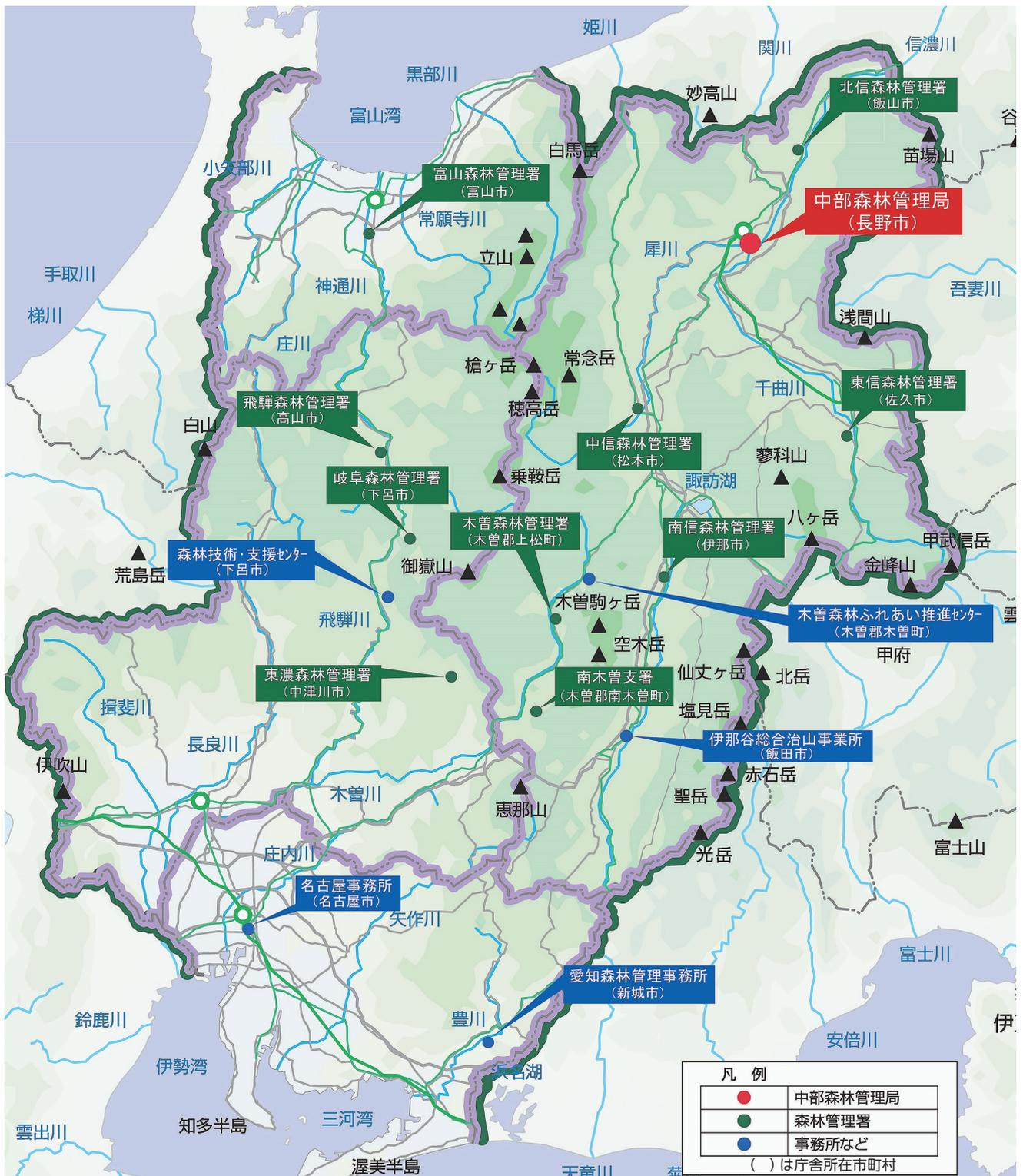
御嶽山を舞台に、一気に駆けあがるヒルクライムレース！観戦に訪れてみてはいかがでしょう。

編集長だより あなたの写真を！お待ちしております

☆今月号から記事の文字を少し大きくするなど見やすさの工夫をしてみました、いかがでしょうか。

☆見どころ聴きどころもたくさん掲載しました。新緑が美しい季節です。国有林にお出掛けください。ステキな写真が撮れましたらmigoro@maff.go.jpまで電子メールでお送りください。(1メール容量2MB以内)

☆特にステキな写真は、広報誌「中部の森林」の表紙に掲載し紹介させていただきます。あなたの写真が来月号の表紙を飾るかもしれません。投稿をお待ちしております。ご投稿には、氏名又はニックネーム、整理番号(4月なら①～⑦のいずれか)、撮影日を記入してお送りください。感想やコメントを添えていただいても構いません。



お問い合わせ先 中部森林管理局 〒380-8575 長野県長野市大字栗田715-5 TEL 050-3160-6507 FAX 026-236-2657

名古屋事務所	〒456-8620	愛知県名古屋市中熱田区熱田西町1-20	TEL 050-3160-6660	FAX 052-683-9269
富山森林管理署	〒939-8214	富山県富山市黒崎字塚田割591-2	TEL 050-3160-6080	FAX 076-424-4934
北信森林管理署	〒389-2253	長野県飯山市大字飯山1090-1	TEL 050-3160-6045	FAX 0269-62-4144
中信森林管理署	〒390-0852	長野県松本市島立1256-1	TEL 050-3160-6050	FAX 0263-47-4754
東信森林管理署	〒384-0301	長野県佐久市白田1822	TEL 050-3160-6055	FAX 0267-82-6959
南信森林管理署	〒396-0023	長野県伊那市山寺1499-1	TEL 050-3160-6060	FAX 0265-72-7774
木曽森林管理署	〒399-5604	長野県木曽郡上松町正島町1-4-1	TEL 050-3160-6065	FAX 0264-52-2582
※南木曽支署	〒399-5302	長野県木曽郡南木曽町吾妻3859-39	TEL 050-3160-6070	FAX 0264-57-2686
飛騨森林管理署	〒506-0031	岐阜県高山市西之一色町3丁目747-3	TEL 050-3160-6085	FAX 0577-34-8932
岐阜森林管理署	〒509-3106	岐阜県下呂市小坂町大島1643-2	TEL 050-3160-6090	FAX 0576-62-2503
東濃森林管理署	〒508-0351	岐阜県中津川市付知町8577-4	TEL 050-3160-5675	FAX 0573-82-2109
愛知森林管理事務所	〒441-1331	愛知県新城市庭野字東萩野49-2	TEL 0536-22-1101	FAX 0536-23-2254
森林技術・支援センター	〒509-2202	岐阜県下呂市森876-1	TEL 050-3160-6095	FAX 0576-25-2420
木曽森林ふれあい推進センター	〒397-0001	長野県木曽郡木曽町福島1250-7	TEL 0264-22-2122	FAX 0264-21-3151
伊那谷総合治山事業所	〒395-0001	長野県飯田市座光寺5152-1	TEL 050-3610-6075	FAX 0265-22-0149

※南木曽支署は平成31年1月（予定）まで庁舎工事のため上記に移転中です。